

平成26年度入学式

校長式辞

「春うらら」、春の暖かな日ざしがやわらかく輝きわたり、まわりの何もかもがほほえんでいるかのように美しく見える季節となりました。

山々の頂を覆っていた雪は、溶けて宍道湖の湖面を張り、大地にも多くの草木の芽が張るこの春という季節は、穏やかな中にも朗らかに弾む様子を表した「麗らか」という言葉が良く似合います。

本日、このように多くの保護者の皆様のご出席のもと、平成26年度入学式をかくも盛大に挙げていくことは、私ども教職員一同大きな喜びとするところであります。

また、高島PTA会長様をはじめといたしまして、多数のご来賓の皆様方のご臨席を賜りましたことに、高いところからではございますが、深く感謝申し上げます。

只今、入学を許可しました、第68期160名の新入生の皆さん、平田高等学校へのご入学、誠にありがとうございます。本校の在校生、教職員一同、皆さんを心より歓迎いたします。

本校は大正5年、平田農学校として設立され、その後、学制改革を経て現在の平田高等学校となりました。この間、約1万7千人を超える卒業生を輩出し、実に多くの方々が県内外で活躍しておられます。

そして、新入生の皆さんが3年生となる平成28年度に、本校は創立100周年を迎えます。大きな節目の年に、本校生の中心となって活躍する皆さんは大きな責任を担うこととなりますが、生涯忘れられない高校生活の良き思い出も得ることになると信じています。新入生の皆さんには、この本校の伝統を受け継ぎ、一方で新たな息吹を吹き込んでくれるものと期待しており、ここで皆さんの入学にあたり、私から三つのお願いをします。

一つ目は、「礼節を尊ぶ人」に育ってほしいということです。

礼儀正しく節度を守る。これは全ての社会生活の基本である、人を大切にすることです。

他人や世の中への不満の多くは、自分の望むものと現実の違いからくるものです。唯我独尊から真の成就是ありません。我々が社会生活をしていく上で、他人との良好なコミュニケーションは欠かせません。そして、その良好な関係は相手を大切にすることから始まります。将来、皆さんがどのような立場になっても、この姿勢は忘れずに持ち続けてほしいのです。

二つ目は「ものの理（ことわり）を考える人、正義を考える人」に育ってほしいということです。

社会では自分の力で判断しなければならないことが数多くあります。些細なものから大きな責任を伴うものまで様々です。時間をかけて判断できるものもあれば、瞬時に判断しなければならないものもあります。しかし、たとえ瞬時に判断したことであっても、その結果については自分自身で責任を負わねばなりません。だからこそ、自

分自身の素養を高めておく必要があります。今問われていることは何か、何が真理で何が正しいのか、どのような筋道で物事を考えれば良いのか、そういうことを高校生の中から考えてほしいのです。

三つ目は「日本や世界に目を向け、日本の将来や世界の将来を語れる人」に育ててほしいということです。

新入生の皆さんが中学校へ入学する直前の平成23年3月11日、東日本大震災が起きました。まだまだ復興への長い道のりは続いていますが、日本国民の誰もが日本という国の将来や日本人としてのあり方について真剣に考える機会となりました。

震災からの復興は喫緊の大きな課題ですが、この他にも経済問題や少子高齢時代における地域の問題、医療や福祉の問題など、日本が抱える課題は山積しています。また世界に目を向けても、近隣諸国との軋轢や国際経済の問題など、民族や文化の違い、地理的、歴史的な要因などから、これも多くの課題を抱えています。今、我々大人達は、皆さんのような若い世代のために一つ一つの問題を解決しようとしながらも、一方で新たな問題の解決を皆さんに託そうとしています。どうか視野を広くし、高い意識で世の中を見つめてください。

以上が私からのお願いです。一つ目の「礼節」については、人を大切にすることにより、結果として自分自身を大切にすることに繋がります。また、二つ目の「理と正義」についても、最後は自分自身の生き方を考えることに繋がります。さらに三つ目の「日本や世界に目を向ける」ことも、最後は皆さんの住んでいる地域、そしてこの島根を考えることに繋がります。

本校の教職員は授業だけでなく、様々な場面で皆さんに語りかけてくれます。私からも多くのメッセージを送ります。多くの事を聞き、見て、感じて、様々に思いを巡らせてください。

新入生の保護者の皆様、この度は誠にありがとうございます。皆様の大切なお子様を我々に預けていただいたことを心から感謝いたします。また、同時にとても大きな責任を感じていますが、我々平田高校の教職員は互いに協力しながら、一丸となって皆様のご期待に添うよう努力して参ります。

申すまでもなく、教育の推進には、学校、家庭、地域社会の三者の協力が必要です。とりわけ、お子様一人ひとりの健やかな成長のためには、学校・家庭の相互の信頼関係こそが最も大切なものと考えております。どうか本校の教育活動に対しまして深いご理解とご協力を賜りますよう、この場を借りてお願い申し上げます。

最後になりましたが、新入生の皆さんの三年間の高校生活が楽しく、実り多きものになることを心から祈念し式辞といたします。

平成26年4月9日

島根県立平田高等学校
校長 長野 博